

# 波紋

森松株式会社社内報

創刊 1985 年 (昭和 60 年) 7 月

2016 年 8 月  
No. 374 号



本社横旧花味を改装し、甲冑工房として生まれ変わりました。隊名も森松武将隊改め名古屋武将隊と一新し甲冑制作も本格的にスタートしました。本社にお越しの際は是非、甲冑工房にお立ち寄りください。 間部将大

## 展示会で考えた

社長 森 直樹



7 月中、文具展示会の「ISOT」、医療展示会の「モダンホスピタルショウ」、またこの展示会と同時間開催の「総務・人事・経理ワールド」として、同展示会に参加する機会が有ったので業界ごとの雰囲気の違いを感じ取れました。文具は落ち着きがあり、商品を並べたカウンター越しに紹介する形式のブースも多く見かけます。医療系は上場企業の高さの有り、立派なデザイン、コンパニオンの方たちもズラリと。季節柄アイスクリームを配るところもいくつか見られました。そして総務人事経理ワールドはブース自体の派手さは無いものの、とにかく出展社側の勢いがあり、通路を歩くお客さんへのアピールに活気があります。それぞれ売れるものが違えば対象となる客層も変わり、その客層へ対してのアピール方法も変わってくるというごく当たり前のことですが、各展示会とも3日間、4〜5万人の来場者を迎えます。そのうちの5%でもブースに目をやる機会があれば、200〜300人の目に触れるチャンスが有るわけですから、だからこそ高い出展料や経費を掛けて展示会へ参加する価値があるわけですが、その見せ方から配布物一つまで各社知恵を絞っているところを見るのも、また展示会の興味深い部分だと思えました。今年例年より1ヶ月早く9月8日(木)、9日(金)の開催となります。皆様のご来場、お待ちしております。

# 『習慣』

牧野 光昌（企画営業部）



いよいよ夏です。8月に入ってお盆休みも近くなりました。以前、妻の実家では夏から秋にかけて岐阜県の根尾川の河原で『観光やな』を営んでいました。当時はお盆の帰省の時期ともなれば、ピーク時は2時間待ちもあるくらい賑わいでした。我が家もシーズンになると、毎週土日とお盆休みには子供も連れて『やな』でお手伝いに明け暮れるのが夏の習慣でした。しかし、徐々に周辺も外食チェーンの店舗が増えて、「夏は暑気払いもかねて観光やなで鮎料理でも」という習慣が減り、来客も年々減ってきて、10年程前に店じまいをしました。その頃には私どもの子供達も大きくなって、やなにお手伝いについて来る習慣もなくなっていました。実家の『観光やな』が店じまいしてからは妻と二人で墓参りに行った後は、少し上流のまだ営業されている『観光やな』に寄り道して『あゆ料理』を堪能するのが新たな習慣となりました。そして最近では、娘家族が相乗りして来ます。子供の頃の御手伝いはあまり好きではなかったかもしれないが、鮎料理は好きでした。もちろん子連れで来るので、親子孫で『あゆ料理』を食べ、川で遊んで、一日堪能して帰るのが最近の習慣となりました。年を重ね、時代が変わり、生活も変わり、習慣も変わりました。新しい習慣に慣れるには少しばかりの時間を要しますが、家族の中に根付く習慣のようには、氣にいった習慣であれば、自然に身につきます。なかなか仕事での習慣はそんな訳ではないのが実情です。得意ではない事を習慣に出来ることこそ、その先にある目標に一步近づく近道ですね。ちなみに添付の画像は『観光やな』で食事する部屋の窓から下を流れる根尾川の様子を眺める三兄弟です。



# 「日本人は本当に幸せですか？」

加藤 雅昭（営業部）



そう彼は来日し私たちに問いかけた。彼の名はホセ・ムヒカ2012年リオ会議で世界中に衝撃を与えたスピーチをしたウルグアイ前大統領です。リオ会議の内容は、私としては知っているはず、わかっているはずなのに知らないふりをして今と言う時をすごしている。持続可能な発展と貧困をなくす・・・しかし彼が言うように全世界約73億人、そのすべてが車を持ち、食事をし、その食料も30%はごみとして破棄されている。そんな世界は成り立つはずがない。しかしあの会議では他に代表者はいまだに生産・消費文化の発展を語っていた。本当にいいのだろうか。限りある資源の中で私たちは生きていかなければならないのに。今一度現代文明、文化のあり方についても考え直さなければいけない時期に来ているのではないのでしょうか。しかし彼には敵も多い。実際日本に来日しても私としては扱いが少なすぎる気がする。それは資本主義の私たちが作り上げた、無限の消費と発展を求める社会を維持しようとしているからだと感じます。消費が止まれば経済が麻痺し、経済が麻痺すれば不況が訪れるその利益の中心に立つ人々からすれば、非常に煙たい発言、存在だと思えます。しかし彼は大統領になる前からそれを実践してきました。ゲリラと言う形で。それは許されるかどうかは別として人々の為に戦っていました。6発の銃弾を受け、4度の投獄、2度の脱獄、その後政治団体を結成し大統領へ「踊る大捜査線」で和久さんも言っていた、「正義と貫きたかつたら偉くなれ」まるでそれを実践しているような人です。人生において幸せとは何なのか、裕福とは何なのか過去の賢人たちは語っています。「貧乏な人とは、すこしのものしかもっていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のこと」だともう一度ムヒカ前大統領のスピーチを聞いてください。読んでみてください。今何をしなければならぬかを考えてください。

<http://hana.bi/2012/07/mujica-speech-nihongo/>

ご存知かとは思いますがステーブ・ジョブズの最後と言葉も一緒に読んでみてください。これもムヒカ氏の生き方とダブル部分が出てくると思います。私はあのスタンフォード大学卒業式のスピーチよりもこの最後の文章が彼のすべてを語っていると思います。

<http://next.spotlight-media.jp/article/214376652661644408>  
そしてこれからの生き方を我々がみな考えなおしていかなければならない時が来たと感じています。

# 絵画鑑賞

成瀬 勝英(裁断部)



我が家では、毎年6月になると絵画を見に行く事が恒例行事になっています。以前、女房が勤めていた会社で親しかった人が、趣味で始めた油絵が認められる(示現会展)という絵画展の常連となっている事も有り、案内状を毎年送ってくれるのです。行き初めて今年で5回目になります。毎回作品のクオリティが上がっていく事が素人目に見てもハッキリと解ります。始めは女房と2人で観に行っていました。その感動を2人の息子夫婦に話すと自分達も観たいという事になり、家族総出で観に行く事が恒例となりました。およそ100点を超える出展絵画の内容は風景、植物、人物、動物、等々、写実的なものから抽象的なものまで自由なものです。縦横50cmを超える大きさの作品が殆どで見応えも有ります。溝口さんという方なのですが一番始めに観た作品は港の風景でした。しかし2回目以降は人物画を描くようになり、その写実的な作品に驚き、ファンになりました。港で働く漁師、網を整える老人、今回の作品は船に乗る漁師が描かれていました。港がテーマで有る事が一貫しています。今回は会場でお会いする事が出来て、本人の作品を前に色々な苦労話を聞く事が出来ました。生みの苦しみを感ずる事は毎回で、好きで始めた事なのに何度も投げ出したくなる事。写真と見間違える程、写実的な絵でも実は試案が有り実際の物とはかなり違うもの、自然に映る手も作者本人の手を見て書かれたものとか、笑顔が印象的な絵ですがモチーフとなる人は実は不機嫌な顔をしていた事など、舞台裏を見せてもらった気分でした。気が付くと後ろに人が集まり、溝口さんの話を聴衆する人ばかりが出来ていました。殆ど独学で学んで来た事も驚きですが鑑賞として絵を観るのではなく何を学び取るかという視線で他の作品を見ている溝口さんの姿勢が印象に残りました。何故人を描くようになったか、今日の会場の一番初めに置かれた先生の人物画に影響を受けた事を聞き、その顔に使われた色を注目して見る事と、その顔がいかにか自然に見えるかを教えて頂き、何気に通り返して見ると、その顔がいかにか自然に驚きました。肌の表皮の質感がリアルに見えるのは、赤や青の動脈、静脈までもうっすらと描かれていたのです。溝口さん曰くまだまだ勉強不足、あのレベル迄の道乗りは遠いとの事。67歳と聞きましたが今尚、学ぶ姿勢を大切に思う事に感動です。去り際に次回作品の題材を教えてください、もう早く観たくって。家族一同、来年も楽しみます。

# トーロ2016

柳原 瞬(裁断部)



先日ユーロ2016で見事ポルトガルが初優勝を果たしました。今回の大会ではフランスが開催国でしたが、この前のテロなどで不安を抱えたまま行われた大会でしたが、サッカーにおいては何事もなく大会が終わりました。さて、ワールドカップは知っているけどユーロってなに?と思う方もいると思います。正確にはUEFA EUROといい欧州選手権であり、ヨーロッパ各国の代表のみで行われている大会です。日本というところのアジアカップみたいなものといえればわかる方もいるのではないのでしょうか。ポルトガル代表の中でもクリスティアーノ・ロナウド選手はサッカーをあまり知られていない方でも有名だと思えます。ポルトガルはユーロが初優勝と言うだけではなく、主要大会でのタイトルが今回初めてという事でした。今大会の人気オッズを見てもポルトガルは7位とあまり期待はされてはいませんでした。やはり、過去EURO、ワールドカップともに自国開催は全て優勝してきたフランスが本命でした。少し前ですが、プレミアリーグでは日本代表の岡崎選手率いるレスターが優勝しました。今回のユーロではジャイアントキリングまでとは言えないですが、歴史的な優勝になったのではないかと思います。ポルトガルのEURO2016の優勝オッズは21倍でしたが、レスターが優勝した時には5007倍でしたので、そのすごさがわかると思います。開幕時点でレスター優勝に賭けていた人は25人もいたそうです。2年後にロシアで行うワールドカップ、ポルトガルに注目して見たら面白いのではないのでしょうか。

森松株式会社のオリジナルキャラクター  
守り隊の『マモーリン』誕生しました！



このたびLINEスタンプデビュー☆  
全40種類100円で販売しています！  
いますぐクリックしてね！



森松株式会社 社内報

MORLIN

No: 374 平成 28 年 7 月 29 日

編集者

大石耕平  
伊東義弥  
間部将大

小坂美香  
柳原 瞬  
近藤結礼

小原龍一  
稲葉善貴

27  
日  
(土)

第四土曜日休み

大石耕平さん誕生日

野間秋子さん誕生日

26  
日  
(金)

CS会議 14時10分～15時

生産会議 12時00分～

18  
日  
(木)

小坂美香さん誕生日

14  
日  
(日)

福重貞子さん誕生日

16  
日  
(火)

夏季休暇

11  
日  
(木)

第一土曜日休み

6  
日  
(土)

河野光代さん誕生日

1  
日  
(月)

# 8月の予定

## 特許・商標・デザイン・著作権等 無料相談会開催のお知らせ

第24回「元気が出る森松展」9月8日(木)、9月9日(金)  
に於いて、特許(技術)、商標、意匠(デザイン)、著作権、等  
の相談に弁理士 丸山明夫 氏 (森松顧問)が

### 秘密厳守

で、個別・具体的に回答します。

弁理士 丸山明夫 氏 プロフィール  
松本深志高校(長野県)、広島大学工学部 卒業  
弁理士登録:1981年(侵害訴訟代理人資格 保有)  
-特許・意匠・商標・著作権等の権利化/判断、  
大企業相手の訴訟、不正競争の判断、等を経験-

皆様、ぜひこの機会に知的財産のスペシャリスト  
弁理士 丸山明夫氏に相談されてみてはいかがでしょうか！！